



みなさんと議会をつなぐ



議会だより

平成 28 年 2 月
発行：比布町議会
編集：議会広報特別委員会



PIPPU TOWN ASSEMBLY

平成 28 年 比布町成人式



成人おめでとうございます！ 第37回 比布町成人式 1月10日

- 審議結果「12月定例会」… 2～3
- ここが聞きたい一般質問… 4～6
- 委員会の活動報告…………… 7～9
- 5町議員研修会・
管内議員研修会…………… 10～11
- 議会のうごき…………… 12

第4回 定例会

12月10日（木曜日）次のとおり決定しました



平成27年第4回定例会は、12月10日に開催されました。

今定例会には、比布町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定をはじめとする6件の議案審議と2件の発議（比布町議会会議規則及び比布町議会傍聴規則の一部改正）があり、全て原案のとおり可決されました。

なお、紙面の都合上、その内容の趣旨のみを掲載させていただきます。

協定変更

◆定住自立圏の形成に関する協定の一部を変更する協定

①上川中部1市7町で構成する大雪広域観光圏整備推進協議会では広域観光圏としての認定を目指し、文言の追加変更

②各種の災害に備え、災害時備蓄品の整備や災害時の応援体制の構築など、更なる体制の充実を図るために文言の追加変更
以上2件が一部変更の主な内容で原案のとおり可決されました。

条例

◆比布町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定

番号法第9条において個人番号の利用範囲を定めており、同一地方公共団体は、他機関への特定個人情報を提供する場合は条例の制定が必要になります。

比布町においては、①乳幼児等医療給付事業②重度心身障害者医療給付事業③ひとり親家庭等医療給付事業の3事業に基づ

く条例を制定し、事務において町長部局に情報の提供を求める場合、この条例が適用される内容で原案のとおり可決されました。

◆比布町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例

国から出されている印鑑登録事務処理要領の一部が改正されたことから、印鑑登録証の再発行の条文「汚染又はき損」を「汚損又は毀損」に改める改正で、原案のとおり可決されました。

◆比布町税条例等の一部を改正する条例

平成27年度税制改正において地方税法が改正され、猶予制度担保の聴取基準などは町の条例に委任されているので、地域の実情などに応じて条例を定める仕組みとされたことから比布町税条例に規定を追加し、平成28年4月1日から施行するものです。

緩和、強化する特別な事情が無いので国税の基準に準拠する内容で原案のとおり可決されました。

補正予算

◆平成27年度比布町一般会計補正予算(第4号)

障害者自立支援給付費等負担金や児童手当負担金などの地域づくり総合交付金によるものが主な歳入の補正です。

高齢者への冬季支援金320万円、障害者自立支援給付事業医療扶助費1千20万円、児童手当190万円、遊湯びつぷ委託料562万円、商工業振興事業200万4千円が歳出の主な増額補正の内容で、原案のとおり可決されました。

(反対討論1賛成討論1)
(賛成7反対1)



◆平成27年度比布町観光事業特別会計補正予算(第2号)

仮称センターハウスの見直しに伴う実施設計料の計上、500万円の増額補正で原案のとおり可決されました。

(反対討論1賛成討論1)
(賛成7反対1)

各会計補正額と補正後の総額

会計区分	補正額	補正後の総額
一般会計(第4号)	28,066千円	4,050,220千円
観光事業特別会計(第2号)	5,000千円	116,745千円

()内は補正回数

皆さんも傍聴しませんか

次回の定例会は3月に開会の予定です

詳しい日程は、無線放送等でお知らせしていますので、ご留意ください。

◆皆様の傍聴をお待ちしています。◆



発議

◆比布町議会会議規則の一部を改正する会議規則について

議会における欠席の届け出の取り扱いに関して、社会情勢等を勘案し、出産の場合の欠席届けについて新たに規定するもので原案のとおり可決されました。

◆比布町議会傍聴規則の一部を改正する議会規則について

議会の傍聴席に持ち込むことを禁止しているものに関して社会情勢などを勘案し「つえ」については削除するもので、原案のとおり可決されました。



Q

一般競争入札の結果公表と

実施の経過について

A
できる限り広く適切に行い、
透明性や公平性を確保します

遠藤議員 入札契約適正化法

により情報を公表する町が増えています。諸工事発注状況は情報として既に公表されており、今年度から一般競争入札の結果がホームページでも情報開示されました。公表までの経緯と今後の課題について町長に伺います。

伊藤町長

特に、入札や契約業務については、情報の公表をできる限り広く適切に行い、透明性や公平性の確保に十分配慮しながら、適正に執行することが重要です。

すべての公共工事発注者に、毎年度の工事の発注見通しや、入札、及び契約に関する情報の公開などが義務付けられ、入札や契約業務に対する透明性・公平性の確保を図っています。近年はインターネットが普及しており、今年度からは、ホームページにおいても公表すべきとの判断をしたものでござ

います。

今後の課題については、入札・契約方法の改善として「総合評価方式の導入」「最低制限価格制度の活用」を導入する自治体が増えてきていますので、今後協議・検討していく考えです。

遠藤議員

今の入札結果及び契約内容の公表ですが、より公正な入札契約適正化に基づき、予定価格、落札価格、落札率の入ったものを公表できるように努力をしていただきたい。

伊藤町長

状況も見ながら十分検討したいと思えます。

要支援者介護の事業実態と

サービスの維持について

遠藤議員

2015年4月、9年ぶりに介護報酬2.27%が引き下げられました。介護予防サービスの報酬単価は20%も下がりがり入浴サービスをなくし、リハビリ回数を減らすなど利用制

限をする施設も現れ、介護事業所は厳しい運営を強いられています。小規模施設ではサービスの質を落としたので、閉鎖が相次いでいます。

要支援者には介護サービスのうち、訪問介護と通所介護は市区町村による支援事業に移行されます。①比布町での要支援者の実態調査を行なったか ②ボランティア等による支援の場合は、現行サービスに追加される新たなサービスと地域資源で行うのか ③その時の生活支援コーディネーターについて公募を基本にするのか町長に伺います。

伊藤町長

①高齢者及び介護要支援者の現状実態については、可能な限り担当の介護保険係、地域包括支援センターで把握を行っており、今後も掌握と分析にも努めてまいります。自治体間で格差が生じる懸念もありますが、必要な方へサービスが提供できるよう事業所に理解

と協力を求め、サービスの低下につながる環境づくりを指してまいります。

②今回の制度改正で示されたガイドラインでは、「地域包括ケアシステム」の構築が明記されており、住民主体による「協議会」と「生活支援コーディネーター」を設けることも示され、「生活助け合い研究会」を立ち上げ、町内各事業所職員、団体代表者、一般町民らにより勉強会や情報交換を行っています。

③2018年4月には必置とされており、選定にあたっては、この協議会設立と連動させながら適任者を模索していきたくないと考えています。事業導入の開始時には、初期の課題や不透明な部分もあり、人選は公募によらず、ある程度こちらで適任者を選任する考えが望ましいと現段階では判断をしています。



Q

業務引き継ぎについて

A

引き継がれたことを忠実に、より良いものとするよう、意識改革に努めていきたいと考えます。

植西議員 引き継ぎについて

は次の従事者へ引き継ぐその方法について様々な形態がありますが、比布町役場内での引き継ぎの不備が原因で町民の不信感や業務の滞りになっている具体的な事例があります。また、縦の引き継ぎがうまくないと部署間の連携がとりにくくなります。

また、縦の引き継ぎが不完全だと「横の引き継ぎ」つまり他部署間との連携、民間業者とのつながりがおおきな状況になつてしまう可能性があります。引き継ぎの際、重要だと考えていることはなんでしょう。

伊藤町長 引き継ぎについて

は確実に引き継がれるものと認識しており、引き継がれたことを忠実に、より良いものとし、仕事に生かしていくことが必要だと考えます。

職員の引き継ぎにつきまして、十分な業務の引き継ぎを行なったうえで円滑な業務の継承

と遂行を指示しています。さらに引き継ぎ終了後は職員相互に書面に内容を記載のうえ上司も確認し、ファイル化保存しています。

横の連携につきましても、引き継ぎ時だけではなく、日常業務においても事務決裁の合議制を図るなど、連携強化に努めています。今後とも尚一層業務が縦割りにならないよう情報の提供や共有、各課間、民間連携の推進に指導と、職員一人一人の意識改革に努めてまいります。

植西議員 5回行われたまちづくり懇談会全てに出席させてもらいましたが、和気あいあいの雰囲気ではありませんでした。

その中で「何度同じことを言わせるのか、言ったことはやるが、言わないことは放置している」という意見や、何か言う「やらない理由を述べる」など引き継ぎ同様、行政への信頼が十分でないような気がします。な

ぜそのような事態になるか町長は考えたことはありますか。

伊藤町長 まちづくり懇談会

についてですが、私はこの懇談会が緊張感のある中、比布町のまちづくりを進める上で、町民の皆様がどのような要望、考え方をもっているのか、町に対してどんな不満を持っているのかを聞かせていただく最良の場と認識しており、時として厳しいやり取りがあると思っており、議会と同等の気持ちで臨んでいます。

不信感については、すべての皆さまに100%満足していただけの行政を進めることは、現状の情勢から残念ですが私にはできません。

町民の皆さまに我慢していただくこと、自分たちでできることはやっていたこともあると思っておりますので、ご理解とご協力をいただきながらまちづくりを進める上でより信頼して

いただけるよう努めてまいります。

植西議員 公の施設管理について

でも管理者がその損害について費用負担することはできません。ですから町に損害を与える前に現場に詳しい業者の意見をしっかりと引き継いで欲しいと思います。そして事故が起る前にヒアリングをするなり、事故事例をしっかりと残しておいていただきたいと思います。

伊藤町長 公の施設については

は当然現場の意見を取り込みながら管理していくことになり

ます。今後、横の連携もしっかりと取れるように全課通して心がけていきたいと思っています。また、このような連携についてはスピードは遅いかもかもしれませんが引き継ぎも含め、しっかりと進めていきます。



Q

TPP大筋合意締結によって

本町の基幹産業の対策は

しっかりと情報収集を行ない

A

町として可能な対策を進めていくことが

必要と認識しています

山内議員 TPP交渉は20

10年3月に交渉が始まり、総決起大会が各地で開催され、日本の農、工業品を始め知的財産に至るまで、関税が撤廃されると日本経済に大きな影響が出る」と話されていました。

日本政府も農産品「重要5品目」を守ると国会で採択し、TPPが発効するまでに12か国の決議承認協定が必要なため、今後長きにわたって政策、予算等々が示されてくると思います。現況の政策については農地の規模拡大、ブランド化又備蓄米の買い増し、畜産農家の赤字補填の拡充等々政策方針を示していますが、「攻」と「守」の政策が重点のように思います。

そこで町長に、TPP締結についてどの様に考えているか、また、本町の基幹産業の対策について伺います。さらにTPPが発効されると基幹産業以外に本町にどのような影響があるか

合せて伺います。

伊藤町長

我国は12番目の国として交渉に加わりましたが、交渉は難航し、コメや麦など農産品の「重要5品目」の関税を守り、交渉開始から5年半かけ大筋合意に至ったわけです。このような状況下、大綱の要約版が新聞に記事として掲載されましたが、具体的な政策や予算付けがなく中身は今後一年以上かけて検討するとも掲載されていましたので、大綱が具体的に見えてくるにはまだ長い時間を要するものと考えます。

特に重要5品目のうち本町が関係する品目の継続的な作付や今後具体的内容が明らかにされる大綱政策に合わせて、町の産業振興条例に基づく補助内容の再検討が必要になる場合があると考えられます。そして本町の農業が確実に再生産を続けられることができ、担い手が将来に希望と意欲を持って取り組める

現農業政策に加えて大綱政策も引き続き積極的な情報収集に努めてまいります。また、基幹産業以外の影響はということですが、具体的な情報はありませんが、サービスのやりとりが盛んになり、日本経済の活性化につながるの期待されています。しっかりと情報収集を行い、町として出来る、可能な対策を進めていくことが必要だと認識しています。

山内議員 TPP交渉が始ま

って、合意に至るまでに5年半の歳月を要し、守秘義務の課せられた交渉と内容を国民に一切示さないまま締結合意したことには私は憤りを感じています。各自治体の首長にも交渉内容は一切示されなかつたのか伺います。

伊藤町長 私共にも同じでございます。私共も新聞報道と集会等で得た情報だけで、それ以上はありません。守秘義務に関

わっていた情報はあまり公表しないという条件です。山内議員 先の平成5年に始まったウルグアイラウンド協定で、政府は農業強化対策費を農業外の公共事業、温泉施設等々に使われたと政府は反省しています。本町の農業者もウルグアイラウンド時代より半数近くに減少しました。2018年には転作も廃止されると言われていますので、行政も議会も政策、予算について真剣に取り組むことが大切だと思います。町政はどのように考えているか伺います。

伊藤町長

議員の皆様とも力を合わせいろいろと議論をしながら両輪となって比布町の農業をしつかりと進めて行く必要があると思っております。

農業者の皆さんとも色々な意見を頂きながら比布町の農業を元気にしていきたいと思っております。

総務常任委員会

11月30日開催

【税務住民課】

《報告事項》

- ・平成27年度（10月末現在）町税等の調定及び収入状況について
- ・上川広域滞納整理機構による収納状況について（10月末現在）

差し押え件数

192件

・換価取立金額

608万6千174円

内、比布町分13件、換価取

立金額 42万4千170円

- ・住民基本台帳カード交付状況について

平成27年4月～10月末現在3名

《協議事項》

- ・比布町税条例の一部改正(案)について
- ・比布町印鑑登録及び証明に関する条例の一部改正(案)について

- ・平成27年度一般会計補正予算(案)《税務住民課分》について
- ・戸籍住民基本台帳費、住民

基本ネットワークシステム事業費22万7千円の増
国民年金費 年金事務経費28万1千円の増

【保険福祉課】

《報告事項》

- ・高齢者等の門口等除雪事業申請状況について
- ・除雪サービス事業 申請該当世帯数 75世帯
- ・門口除雪サービス事業 申請該当世帯数 104世帯
- ・各種健診受診状況について
- ・各医療費等の状況について
- ・介護保険事業の利用状況等について

《説明及び協議事項》

・12月定例会提出議案

一般会計補正予算(案)《保健福祉課分》

老人福祉費、生活支援サービス320万円の増

障害者福祉費、障害者自立支援金1千20万円の増

児童措置費、児童手当支給事業190万円の増

予防費、予防接種事業10万7千円の増、妊婦健康診査事業60万円の増

環境衛生費、合併処理浄化槽設置整備事業補助金90万円の増、衛生業務事業補助金58万4千円の増

- ・介護保険制度にかかる新地域支援事業移行に向けて
- ・その他、ごみ収集方法の一部変更について(スプレー缶穴開け不要回収平成28年度)開始予定)

【生涯学習課】

《報告事項》

- ・比布中学校校舍改築事業について 5つの基本キーワード
- ①教育改革に適応した施設
- ②まちづくり、地域づくりの中心となるような学校
- ③管理しやすい施設
- ④大雪山系の眺め
- ⑤省エネルギーに配慮した環境にやさしい学校

右記のキーワードから小・中連携による教育の強化と、地域に開かれた人々のよりどころとなる校舎が、コンセプトとされています。

- ・平成28年度修学予定児童について 男児6名 女児13名
- ・全国学力・学習状況調査結果の町教育委員会公表について (調査対象 小学校6年生、中学校3年生)

【中央小学校調査結果】

《国語》(知識)(活用)全道・全国平均以上

《算数》(知識)全道・全国平均以上

均下回る

(活用)全道・全国平均以上

《理科》全道・全国平均以上

《比布中学校調査結果》

《国語》(知識)(活用)全道・全国平均以上

《数学》(知識)(活用)全道・全国平均以上

《理科》全道・全国平均以上

第67回成人式の開催について

開催日 平成28年1月10日

・蘭留小学校跡利用について

・教育委員会関係行事・事業の経過と予定について

《協議事項》

・君の夢プロジェクト推進事業について

(吹奏楽部・野球部・剣道部は前回記載済み。)

《ソフトテニス部(18名)》

開催日9月12日～13日

ミスノ株式会社ソフトテニス部所属、稲積京之助選手・豊島楓さん(ミスノスタッフ)による技術指導(初

日参加人数11、2日目全員参加)開催場所いちごア

リーナ

(開催事業費4千700円)

《卓球部(19名)》

開催日11月28日

JR北海道卓球部所属、荻原典和監督兼選手・荻原

史選手・萩原直子選手・卓球連盟派遣伊藤優香選手以上4名による技術指導。参加人数15名(中学生7名少年団8名)開催場所中学校体育館(開催事業費10万円)

【総務企画課】

《報告事項》

・第4回定例会提出議案について
定住自立圏の形成に関する協定の一部を変更する協定(案)について

比布町税条例等の一部を改正する条例(案)について

比布町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例(案)について

比布町個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の制定(案)について

平成27年度比布町一般会計補正予算(案)について

平成27年度比布町観光事業特別会計補正予算(案)について
表彰について

《感謝状》2名

福井 征吾 様(8区)

交通安全指導員として精励された功績。

谷越 保子 様(新町)

婦人会連絡協議会会長として精励された功績。

《功労表彰》4名・1団体

佐竹 清 様(北町)

保護司として精励された功績。

久保田 正義 様(18区)

町議会議長・副議長・議員として町政進展に貢献された。

那須 完爾 様(4区)

町議会副議長・議員として町政進展に貢献された。

堀部 勝幸 様(3区)

町議会副議長・議員として町政進展に貢献された。

ひろがり文庫様(代表 安藤裕子様)

読み聞かせ活動を実施し読書啓発と幼児・児童の健全育成に貢献された。

《善行表彰》1名・1団体

木村 宣昭 様(寿町)

中央小学校校舎前で登校する児童生徒に声かけ・見守り・交通安全指導等ボランティア活動を実施された功績。

ひまわり会(会長 山内美幸様)あそか苑入園者への支援活動を実施された功績。

個人・団体へ町から表彰状授与へむけての経過説明がありました。

・ふれあいタウン販売状況と、空き地・空き家対策について

分譲4区画のうち本年度2区画が販売され、外2区画が継続分譲されています。

町内空き地・空き家各1件が宅建協会との連携で販売されました。

・地方創生(人口ビジョン・総合戦略)について

地方創生の基礎となる町の人口ビジョン平成31年度末人口3千600人、平成51年度末2千700人(各住民基本台帳)を目標とし持続可能なまちづくりを継続するため、比布町『まち・ひと・しごと総合戦略』が10月に策定されました。

・比布駅について

駅舎周辺、外構整備委託業者決定 委託業者(株)ダイイチプランニング
委託料 270万円(設計委託期間平成28年3月31日まで)

・庁舎建設基本構想について
その他
新電力採用について
平成28年度職員の採用について

《報告事項》
・第4回定例会提出議案について

定の一部を変更する協定

広域観光のネットワーク化・防災体制の整備各項目の改正(案)について

比布町個人番号利用及び特定個人情報提供に関する条例

条例制定の背景目的・個人番号の独自利用・庁内での情報連携・庁内での執行機関にまたがる情報連携各項目(案)について

一般会計補正予算(案)第4号《総務企画課分》について

防災諸費
道地域づくり総合交付金災害用備蓄品整備事業における事業費1/2の補助内示を受けたことによる財源内訳の変更(一般財源へ1千万)↓道支出金へ移行)

選挙管理委員会費25万4千円の増
選挙管理委員会任期満了に伴う新委員選出による報酬の増

選挙権年齢18歳以上に引き下げのシステム改修委託料
予備費 51万1千円の減(今回の補正に係わる財源調整)

債権管理条例について
行政不服審査制度について

産業建設常任委員会

12月3日開催

【建設課】

《報告事項》

- 諸工事の発注及び進捗状況について

西町駅前団地B棟建設工事

進捗率70%

- 平成27年度除雪計画（案）

町道除雪路線

町道延長 170.0 km

総除雪延長 125.2 km

除雪体制

雪トラック 3台

除雪専用車 1台

除雪ドーザー 2台

ロータリー車歩道用 1台

小型ロータリー除雪車 1台

ミニホイールローダー 1台

除雪従事者

嘱託職員 1名

臨時職員 10名

除雪機械の適切な利用、堆積

場所の確保、除雪時間について

平成27年まちづくり要望事項

について

河川敷の雑木の伐採、ガード

ロープ設置個所の草刈り

照明のLED化等、建設課へ

の要望14件

《協議事項》

- 新たな町営住宅の整備計画に

ついて

平成28年から3年 外断熱工

法、ガルバニウム使用

児童公園の新設等、建物のコ

ンセプトを説明

- 長寿命化計画の変更について

国の指導により今年度中に

建替え計画変更

【農林部門】

《報告事項》

- 平成27年度産米等出荷・販売実

績（農協出荷分）

米 7万3千741俵

小麦 3千688俵

大豆 2千25俵

そば 901俵

（※規格外品は対象外）

小豆 586俵

- 平成27年度経営所得安定対策

交付金

①畑作物直接支払交付金

麦、大豆、そば等 66件

交付金額4千713万300円

②米の直接支払交付金

対象面積11万3千462㌥

交付金額 167件

859万6千500円

③水田活用直接支払交付金

(1)戦略作物助成件数229件

交付金額

1千472万3千500円

(2)産地交付金

【道枠】交付金額 6千92万円

【地域枠】交付金額

1億3千115万2千円

総計

4億7千132万2千300円

※昨年計

5億922万6千210円

《協議事項》

- 平成27年度一般会計補正予算

(案)について

農林業費道補助金(1)担い手経

営発展支援事業補助金20万円

比布町集落営農組織が対象

になりうることから計上

- 平成28年度産米 生産数量目標

の配分ルールについて

地域農業再生協議会小委員

会にて協議し、のち臨時総会

にて決定

【商工・観光部門】

《報告事項》

- 「遊湯びっぶ」施設管理料、運

営内容について(10月末現在)

入浴者数 5万1千885人

宿泊者数 5千503人

合計 6万6千390人

前年比 93.7%

- 平成27年度「グリーンパーク

びっぶ」営業結果について

1万8千798人

602万7千361円

前年比96.86%

(過去最高年度平成15年、5

万4千441人、1千914

万9千円)

開設15年目、プレイ人口の固

定化、パークゴルフ人数の減少

等、今後の運営について協議が

必要と考える。

《協議事項》

- 平成27年度一般会計補正予算

(案)について

交流促進施設運営事業

運営費補助 562万円

商工業振興費200万4千円

平成27年度観光事業特別会計

補正予算(案)について

スキー場事業費の増 仮称セ

ンターハウス実施設計に伴う再

委託料の増額 500万円

【農業委員会】

《報告事項》

- 平成27年度水稲生産量の答申

について

10㌥当たり平均収量578

kg(前年578kg)

農地法及び基盤強化法による

農用地集積状況について

農業委員会制度改正について

10月23日
鷹栖町

5町議員研修会

平成27年度上川中央部5町議会議員研修会が、鷹栖町で開催されました。

今年はこの町も稲刈り作業が遅れ、鷹栖町もコンバインが最後の追い込み作業中でした。

最初の研修は、ホンダ技術研究所鷹栖ブルービンググラウンドです。この施設は本田技研工業(株)の関連施設で、北海道特有の気象環境を生かし、自動車をはじめいろいろなホンダ製品の寒冷地テストを行う総面積788畝、東京ドーム167個分を有する広大な施設です。

最初に社員の方から施設の概要説明がありました。このテストコースが鷹栖に建設された経緯や、この施設が鷹栖町に及ぼす経済効果など詳しく説明して頂きました。

空港や高速道路など交通の利便性や、コースを作る広大な用地の確保など、いくつもの候補

町づくりの講演をする
谷 寿男 鷹栖町長ホンダ技術研究所関連施設で
説明を受けました

地から鷹栖町が選ばれた要因の中には、地元住民の理解と熱心な誘致活動もあったものとお話を聞いて思いました。年間の延出張者数は約1万7千人で、食事や宿泊など衣食住に関する経済効果だけで、年間数億円に上るそうです。

また地元採用の社員も多数いて、出張者だけでなくより深い地域密着企業なのだと感じしました。

ここまで大きな企業を誘致するのは簡単なことではありませんが、比布町も交通の利便性や災害の少なさなど、アピールできる所は色々なツールを使って発信することも大切だと思います。

最後はバスに分乗しテストコースを見学させて頂きました。世界各国の路面状態を再現したコース内は綺麗に管理され景観もすばらしく、「世界のホンダ」、

の印象そのままの施設でした。

2つ目の研修は、鷹栖町のまちづくり」と題して、詳しくお話をさせて頂きました。鷹栖町産米のブランド化や加工品の活用など農業関係のお話、幼児、児童教育の充実、地元高校への支援など教育関係のお話、またふるさと納税の積極的な取り組みや、定住、移住政策など、どれも比布町も課題としている案件についてのお話で、大変参考になりました。

研修終了後の懇親会では、近隣町村議員の皆さんと政策や財政のお話など、どの町も厳しい時代のなか、眠っている資源の活用や、住民の力を結集し、一步一步前に進み続けようとする意欲に感銘を受け帰路に着きました。協力頂いた鷹栖町の皆さんに感謝申し上げ報告いたします。

【武井 邦義】

10月27日
当麻町

管内議員研修会



東京大学大学院農学国際専攻教授
鈴木 宣弘 氏

上川管内議員研修会で学ぶ

平成27年度の研修会は10月27日当麻町公民館『ままとまる』で開催されました。

主催者あいさつは、上川町村議会議長会々長の西村昭教氏（上富良野町議会議長）、開催地挨拶は当麻町長の菊川健一氏。

はじめに東京大学大学院農学国際専攻教授の鈴木宣弘氏から「TPP交渉について」と題し90

分の話を伺いました。

鈴木氏は「難航したTPP交渉は10月に大筋合意に達したが、今後、困難が予想される各国の議会承認があることから、日本政府だけが前のめりに批准に向けた国内手続きを急がずに、農業関係者などもあきらめモードに入るべきではない」と。そして「狭い視野の経済効率だけで市場競争に任せることは、人の命や健康にかかわる安全性のためのコストが切り詰められてしまおうと言う重大な危険をもたらす。

特に日本のように食糧自給率がすでに39%まで低下して、食糧の確保についての安全保障が崩れてしまうと、安全性に不安があっても輸入に頼らざるを得なくなる。

つまり、量の安全保障と同時に質の安全保障もくずされる事態を招いてしまうのである」と言い切っていました。

膨大な資料を持参されていますので後日に学ぶことができますが、食料だけでなく、医薬



経済ジャーナリスト
須田 慎一 氏

上川管内町村議会議員研修会

品、自動車、金融、ISD条項など多方面にわたり12か国が関税率ゼロにするのがこの交渉であることから、危機感を持ちながら関心を持っていく重要性を学びました。

そして、後半の講師は経済ジャーナリストの須田慎一郎氏。「日本経済の課題と展望」と題して話されました。「夕刊フジ」「週刊ポスト」「週刊新潮」などで執筆活動が続けるかわら、テレビ朝日「ビートたけしのTVタックル」、読売テレビ「たかじんのそこまで言って委員会」ニッポン放送「あさラジ」他、テレビ、ラジオの報道番組等で活躍中の須田氏です。

また、平成19年から24年までは内閣府の多重債務者対策本部有識者会議委員を務めるなど、多方面で活躍しています。政界、官界、財界での豊富な人脈を基に、数々のスクープを連発し、今では押しも押されぬジャーナリストとして、北から南まで講演活動も勢力的にこなしています。どんなお話が聞けるかと楽しみにしていましたので、どのお話も弾丸トークと軽妙な語り口で会場は引き込まれ、笑いも交えてでしたので時間も忘れ聞くことができました。

【遠藤 春子】



◆◆◆ 議会のうごき ◆◆◆

11 月

- 10日 上川町村議会議長会臨時総会 (東京都、議長)
- 11日 全国町村議会議長大会 (東京都、議長)
- 12-14日 上川町議会議長会現地研修会 (石川県、議長)
- 12日 「TPP懇談会」 (旭川市、副議長)
- 24日 上川中央部市・町議会正副議長会議
(上川町、正副議長)
- 30日 総務常任委員会 (役場、各委員・議長)

12 月

- 1日 ぴっぷスキー場会場式 (ぴっぷスキー場、全議員)
- 2日 大雪浄化組合議会定例会 (愛別町、各組合議員)
愛別町外3町塵芥処理組合議会定例会
(愛別町、各組合議員)
- 3日 産業建設常任委員会 (役場、各委員・議長)
- 7日 議会運営委員会 (役場、各委員・議長)
- 10日 第4回議会定例会 (役場、全議員)

- 14日 今津ひろし衆議院議員を囲んで忘年会
(旭川市、議長)
- 22日 大雪消防組合議会定例会 (美瑛町、各組合議員)
- 25-26日 上川町村議会議長会役員会 (旭川市、議長)

1 月

- 7日 比布消防団出初式
(比布コミセン・改善センター、全議員)
- 8日 比布町商工会新年交礼会 (比布商工会館、議長)
- 9日 自民党旭川支部・今津ひろし連合後援会
新年会 (旭川市、議長)
- 10日 第67回比布町成人式 (改善センター、全議員)
- 16日 北口ゆうこう道議新春のつどい(土別市、議長)
- 18日 議会広報特別委員会 (役場、各委員)
- 19-20日 ウエルネスフェスタ2016 (大阪市、議長)
- 26日 議会広報特別委員会 (役場、正副委員長)
- 29日 上川中央部市・町村議会議長定例会
(遊湯ぴっぷ、正副議長)

◆ 編集後記 ◆

穏やかな新春を迎え心よりお慶び申し上げます。昨年一年間を顧みますと、地方創生・TPP・マイナンバー等々、めまぐるしい程に、新制度が導入された年でありました。

また、スポーツや学術会で多くの日本人が活躍する快挙な一年でもありました。

世相を表す漢字一文字は『安』で締めくくられ、その意味合いは安倍政権の『安』・安保法案の『安』・戦後七十年を迎え今後の平安について皆が考えた『安』・安心してください！の『安』・またイスラム過激派による一連の事件で世界中が震撼した不安の『安』などが謂われとされ、京都清水寺の貫主(かんじゆ)森 清範(もり・せいはい)氏は、来年こそは『安心した、安全なる社会を作ってほしい』その願いをこめ、この字をきこうされたそうです。

迎えた平成28年、町の顔とも言える待望の比布駅舎が今月末に竣工を迎え、今後は中学校校舎・スキー場センター施設(仮称)・役場庁舎の改築(案)などが、年度を重ね、段階をへて計画されています。

これらの施設が孤立した点に留まらず、既設や町民と融合し、相乗効果に結びつくこと、『安心・『安』全を確保しつつ持続可能な町として、起動する年となりますよう祈念いたします。

佐藤 康則